

津波避難訓練時に実施する臨時災害放送局設置および運営訓練に参加して

2月11日、生徒会役員6名、放送演劇部3名の生徒が、広川町役場にて行われた、津波避難訓練時に実施する臨時災害放送局設置および運営訓練に参加しました。和歌山県情報化推進協議会、広川町と本校の協働により、FM機材を用いてこの訓練を行いました。参加生徒は、本校で2回の事前研修を受講してから、この日の訓練に臨みました。訓練内容は、役場の担当職員や消防隊員から読み上げられる情報をすばやく整理し、また必要と思われる情報を聞き取りして、被災者達にわかりやすく伝えるというものでした。掲示板に貼る速報の作成と同時進行で、放送原稿にまとめ、実際に放送しました。放送する直前は、非常に緊張していた生徒たちでしたが、全員堂々としゃべることができました。生徒達の感想は、「短い時間で様々な人に向けて、正確な情報を伝えるため、整理することの難しさを感じた。」「この経験を今後の生活にも生かしていきたい。」「災害に備えて考えることがたくさん見えてきた。」でした。

